

仲間川マングローブ林台風被害地調査記録簿

調 査 場 所	南風見国有林 173 い林小班 仲間川支流ヤッサ島下
調 査 年 月 日	空撮 令和 8 年 2 月 13 日 (金曜日) 天候：曇り 地上調査 令和 8 年 2 月 13 日 (金曜日) 天候：曇り
調 査 者	空撮・地上調査 小野、田中、津波、赤星
被害地内の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年は台風の襲来がなく、大雨や強風等による生立木の倒伏はなかった。 ・ 被害地中央部は、昨年同様、小さな水流（川）が確認され、そこを中心に土泥化が進行している。 ・ 被害区域全般に被害木（倒伏枯損）が確認され腐朽が進んでいる。
被害地内の稚樹の発生状況（オヒルギ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発生状況 中央部の水流を中心とした両脇には稚樹の発生は確認されていない。昨年と比較して大きな変化は見られないが、被害地内には成木、稚樹が発生生育しており、当初調査と比較すると裸地部箇所に減少が見られることから、被害地の復旧の兆しが見える。 ・ 定着状況（1.3m 以上に生育したもの） P4,P6,及び P8～P9 間にかけて数十本確認される
被害地林縁部の繁殖体の着生状況（オヒルギ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各測点の林縁部付近には、稚樹の発生が見られる状況で、昨年度と比較し大きな変化はないが成長が確認される。今後は林縁部に母樹があるため母樹から落ちた種が芽生えて、林縁部から徐々に被害地が復旧していくと考えられる。 ・ 定着状況（1.3m 以上に生育したもの） 台風被害地中央部を流れる川（支流）から離れた林縁部（P3,P4,P6, 及び P8～P9 間）に確認される。

- 注) 1 稚樹の発生及び定着状況については、林内が歩行困難なことから遠方目視（双眼鏡等）により確認出来たものを記載することとする。なお、特記事項がある場合にはこの限りではない。
- 2 繁殖体の状況については、林縁部を周回して確認した上でその状況を記載する。
- 3 写真を必ず添付報告すること。

仲間川マングローブ林台風被害箇所

南風見国有林173い林小班

定 点 撮 影



調査年月日

地上調査 令和7年 2月13日 (金)

空 撮 令和7年 2月13日 (金)

西表森林生態系保全センター



P1

周辺には稚樹の発生が確認され、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの稚樹に成長が見られる。



P2

周辺部に新たな稚樹の発生は確認出来ず、中央部は土泥化が見られる。



P3

昨年度、林縁部周辺に発生した稚樹に成長が見られ、中央部では倒伏したオヒルギの腐朽が目立ち、水流部の土泥化が見られる。



P4

林縁部には稚樹の増加が確認され、順調に生長している様子が見られる。



P5

中央水流部は土泥化が見られ、倒伏しているオヒルギ等の腐朽が目立つ。定点周辺には稚樹の発生が確認できる。



P6

中央水流部は土泥化が見られる。林縁部周辺部に稚樹の定着、成長が確認できる。



P7

林縁部に稚樹の定着が確認できる。中央部では倒伏したオヒルギが目立ち、水流部の土泥化が見られる。



P8

林縁部に稚樹の定着を確認できるが、中央部は土泥化が見られ、稚樹の発生は確認されていない。



P9

林縁部に稚樹の発生、定着が確認され、稚樹の成長が見られる。



稚樹の発生状況

P3からP2と中央部

多数の発生、定着が確認され、順調に生長している様子が見られる。



稚樹の発生状況

P8からP9林縁周辺

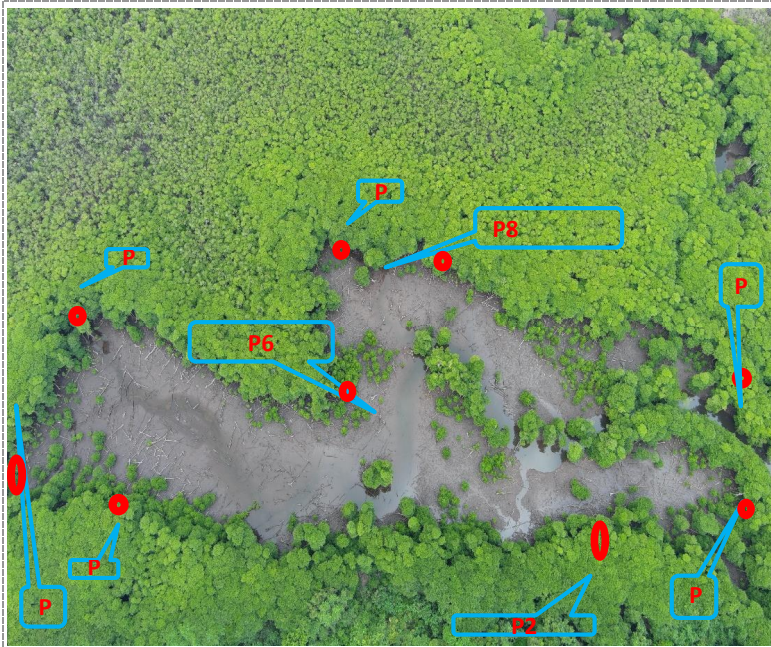
林縁部周辺に多数発生し、定着している様子が見られる。



中央部倒木箇所

P5中央水流部からP3林縁部

中央部には水流が確認され、稚樹の発生は確認出来ない。P3周辺の林縁部に幼木の定着が確認される。

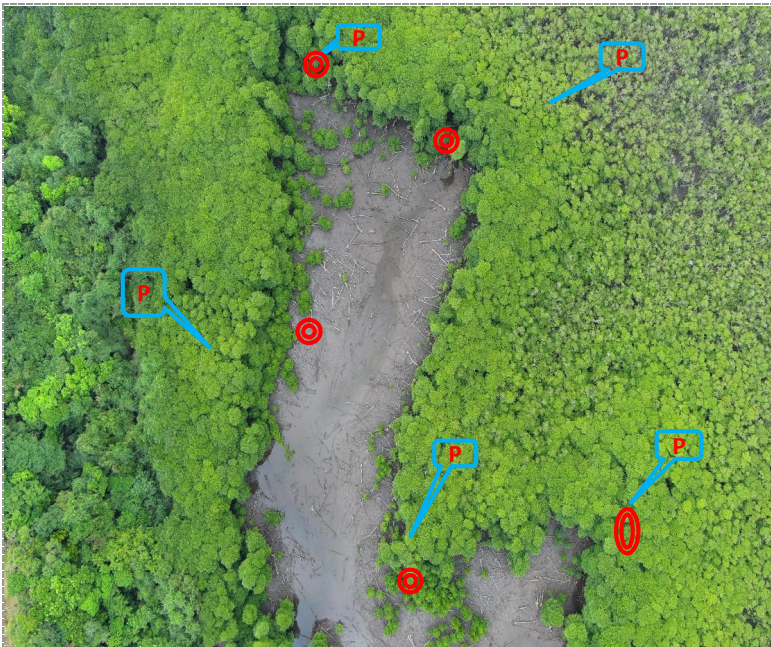


全景

高度150m撮影

(画像右が北)

中央部に蛇行した川が形成されており、被害区域全域に被害木(風倒枯損)が確認される。(画像左側が上流)

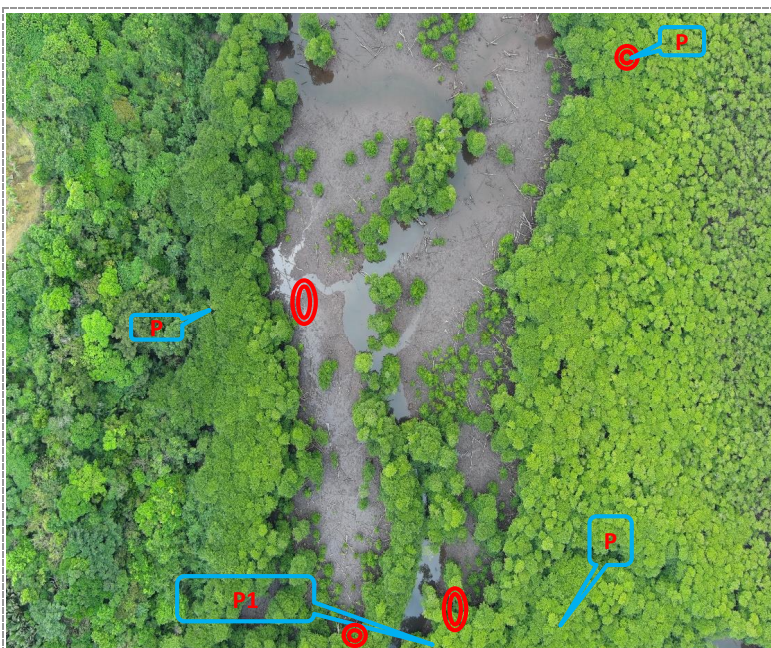


P3からP7

高度100m撮影

(画像下が北)

中央部に蛇行する水流が確認され、水流周辺部には稚樹の発生、定着は確認できない。P3,P4,P6付近に稚樹の定着を確認する。

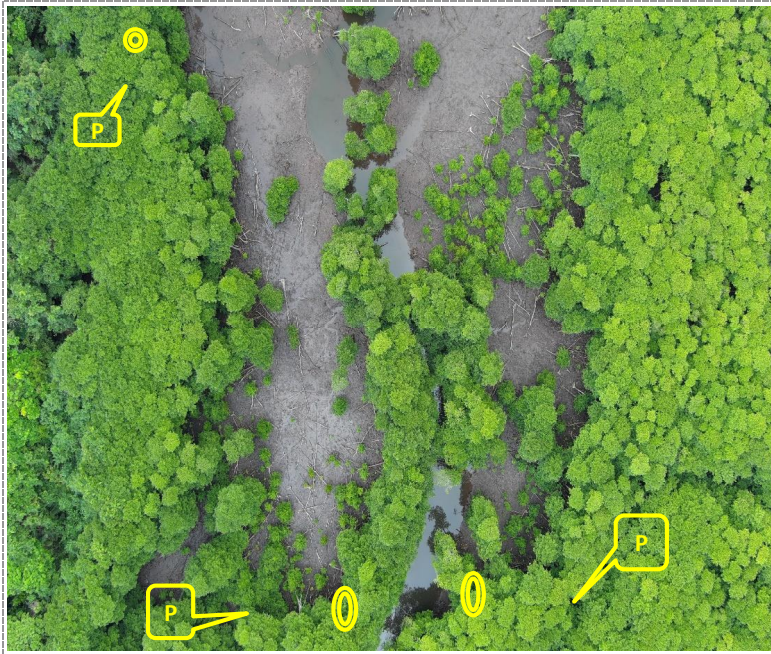


P1, P2, P8, P9

高度100m撮影

(画像下が北)

被害地中央の水流の流れが確認され、下流域(P8,P9間)には稚樹群の発生、定着が確認される。



P1, P2, P9

高度60m撮影

(画像下が北)

水流部周辺には稚樹は確認されない。P1、P9周辺に稚樹の発生、定着が確認される。



P2, P8

高度60m撮影

(画像下が北)

水流部では稚樹の発生は確認されないが、周辺部には成木が確認され、稚樹の発生、定着が見られる。



P6, P7

高度60m撮影

(画像下が北)

被害地中央部に水流が蛇行して流れる様子が見られ、その周辺部は土泥が確認できる。周囲には倒伏しているオヒルギ等の腐朽が目立つが、P6 周辺の林縁部周辺に稚樹群が確認される。



P1, P9(仲間川本流合流箇所)

高度120m撮影

(画像右が北)

被害地は仲間川本流から近く、満潮時には水没する。



P1

高度30m撮影

(画像上が北)

台風被害地下流部に位置し、林縁部周辺には稚樹の発生定着が確認できる。中央部には被害木(風倒枯損)が散乱し、腐朽が進んでいる。



P2

高度30m撮影

(画像左が北)

被害地中央部に蛇行する水流周辺は土泥化が見られ、稚樹は確認されない。林縁部周辺では稚樹の定着が確認され、周辺には被害木(風倒枯損)が散乱している。



P3

高度30m撮影

(画像左が北)

被害地中央部に蛇行する水流周辺は土泥化が見られ、稚樹の発生は確認されない。林縁部周辺では稚樹の発生、定着が確認できず



P4,

高度30m撮影

(画像下が北)

中央部に蛇行する水流周辺は土泥化が進み、稚樹は確認されないが、P4周辺では多くの稚樹の発生と定着が確認できる。



P5

高度30m撮影

(画像左が北)

被害地中央部の水流周辺に稚樹の発生は確認出来ないが、P5の林縁部周辺では若干の稚樹の定着を確認する。被害木(風倒枯損)が散乱し、腐朽が進んでいる。



P6

高度30m撮影

(画像下が北)

被害地中央部に蛇行する水流周辺部は土泥化が見られ、稚樹は確認されず、被害木(風倒枯損)が散乱している。P6林縁部周辺では多くの稚樹の発生、定着が確認できる。



P7

高度30m撮影

(画像右が北)

周辺には被害木(風倒枯損)が散乱し、腐朽が進んでいる。P7林縁部周辺では若干の稚樹の発生が確認できる。



P8

高度30m撮影

(画像右が北)

周辺には被害木(風倒枯損)が散乱し、腐朽が進んでいる。被害地中央部には成木が多く見られ、若干ではあるが稚樹の発生が確認され、林縁部周辺においても稚樹の発生が確認される。

